

住宅ローンなどで返済が長期にわたる場合、返済方法の違いによって返済総額に大きな差が出る場合があります。

それぞれの違いを十分に理解しておきましょう。

固定金利と変動金利

大きく分けて、金利には借りるときの金利が一定期間固定されるタイプ(固定金利)と、そのときの経済状況などによって金利が変わるタイプ(変動金利)があります。

固定金利

返済の初回から、金利が決まっているタイプ。経済状況が変わったとしても、借入れ時点で決めた金利がずっと適用されます。



変動金利

返済の途中で金利が見直される可能性のあるタイプ。そのときの経済状況などによって金利が変わります。



どっちが安い？ 固定金利と変動金利

○ 1,000万円を20年間で返済した場合

